

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	いんくるーじょん東淀川			
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	連絡帳をアプリにて行っているので、日頃の様子を写真付きでご報告する事が出来ている。	アプリ内のトラブルは、迅速に対応出来る体制を整えている。	
2	地域との連携も取れており、季節行事にて参加もして下さっている。	子ども部会へ毎月参加し、地域交流イベントにも参加。また、近隣の方々にも周知している。	事業所内にて、地域の方々にもご来所いただけるイベントを考案する。
3	保護者との連携	事業開設から11年目に突入。長年、通って下さっているご家庭も多いので、法改正を含む変化などにご理解・ご協力を頂いている。	新規利用者・ご家族に対しても、密に連携を図って行きご意見を聴取すると共に、よりよい環境作りに努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家庭内での課題解決	ご家庭内でのお困り事（要体協案件）などを確認した場合、速やかに相談員・区役所・子どもセンター等に相談しているが、訪問する事は難しいとの事で、解決に繋がらない。	契約・アセスメント・モニタリングなど、ご家族とお話しする機会ごとに、困りごとを聴取する。
2	職員定着率	一番長い職員で、入社5年目なので新入社員が入るたびに1から流れを説明している。また、保護者様にもそれを共有しているので、不安を与えてしまっている可能性がある。	職員指導の見直し、計画に沿った業務目標の設定を行う。
3	送迎範囲	送迎範囲が広く、放課後の待機（いきいき活動・学童など）の時間が長くなってしまふ。	送迎車・送迎者の拡大。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名

いんくるーじょん東淀川

公表日 令和7年 4月 30日

利用児童数

23名(回収18)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2		2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	5		子ども支援部会を通じて、夏祭りの参加、イベントの企画を行っている。 連絡帳アプリ内でも交流の様子を周知していく
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	2	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	6	6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	1	2	訓練はされているが、マニュアルはわからない。	各種マニュアル類の整備はできている。ご家族様にも連絡帳用のアプリを活用し、周知するように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	1	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
いんくるーじょん東淀川		令和7 年 4月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	勉強スペース、遊ぶスペースと区切っており、机などの備品が足りなかった事はない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	個別サポート対応、重度個別サポートに応じて配置基準以上に設置する日もある。	どんな児童でも、その日の体調・学校での過ごし方で職員が個別対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	物・部屋全てに平仮名で説明書きを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日、子ども達・職員と一緒に掃除を行っている。また、長期休業では、職員のみで普段行えない箇所の掃除も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	静養室あり。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日の振り返り、毎月の会議を2回開催している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	6番に同じ。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		今後、第3者委員会による外部評価を検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	部会の中で研修があれば、全正社員で参加している。	まだ、参加した事はないが（入社間もない為）今後は参加したい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定められた期限内にて作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	6番の会義にて、実施。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	個別ファイルにて保管、全職員がいつでも閲覧できる環境にある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	ねらい及び作成内容を踏まえて作成・記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	活動プログラムは、全職員で話し合い、内容が決定してからサービス提供を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	全職員を担当制にし、順番にプログラムを立案・作成・実行している。	就業時間もあり、非常勤が考案する事が難しい。ただし、意見はできる環境にある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動・集団/小集団で活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝、朝礼を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	朝礼のみ行っている。（ただし、長期休暇など、翌日も朝から迎えがある場合は朝礼ではなく、終礼を行っている）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	必要があれば行っているが、毎日ではない。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	支援中の声かけでは、子どもが選択できるように心がけている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	必要があれば、担当者会議も開催している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	お互いに、連絡を取り合うように努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	卒業先の事業所職員が、見学に来られるようご連絡を行っている。また、卒業前には担当者会議を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7		児童発達支援センターとの連携は図れていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	子ども部会にて、地域の活動に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	東淀川区こども部会に、毎月参加している。	主に管理者が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時、連絡帳、お電話にて情報共有・ご報告を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		モニタリングでは、基本的には事業所にご来所いただき行っている。そこでご家庭内での困り事も聴取しているが、研修のご案内などは出ていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時・計画書の更新時など、適宜行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	35番に同じ。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	開催出来ていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	SNSでは活動の内容を週2～3回、通信は毎月発行し配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きの書庫にて管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	契約書などは、振り仮名表記のものもあるが、現状では必要がない。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	季節イベントにて、行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	現状、食べ物アレルギーの利用者はいないので未実施。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	6番の会義にて実施。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		